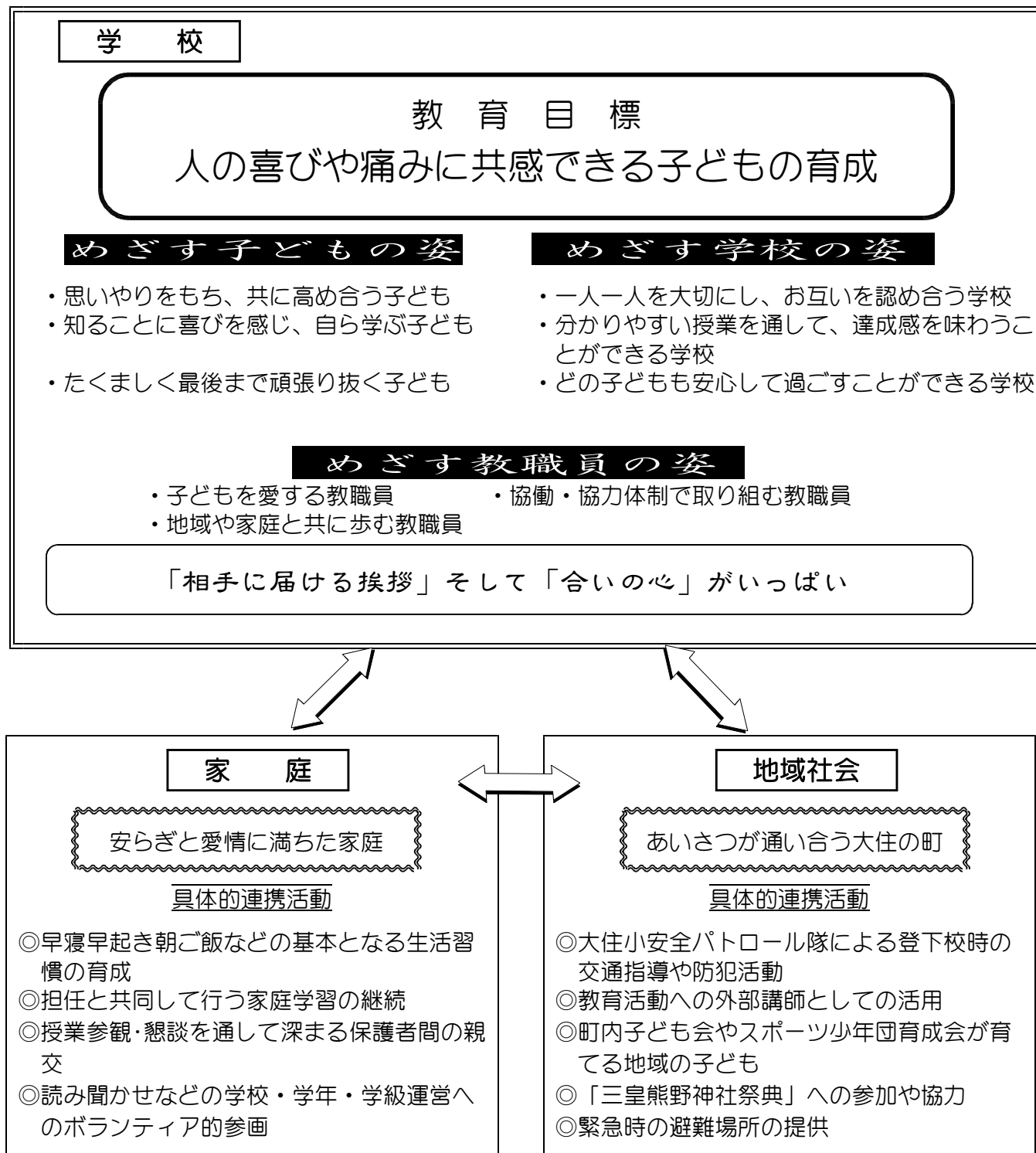


令和6年度 学 校 経 営 の 概 要

1 経営の基本方針

- (1) 自立と共生の「芽」を育てる教育活動を工夫し、豊かな心とたくましさを培う学校をつくる。
- (2) 教職員一人一人の専門性や特性を生かし、お互いを高め合いながら教育活動に取り組む指導体制をつくる。
- (3) 家庭や地域との絆を深め、学び合い、共に歩む学校をつくる。

2 学校教育目標



3 教育目標を具現化するために（経営の重点事項）

(1) 「居場所づくり」と「絆づくり」を中心とした学級経営と生徒指導

- ・ 自立と共生の芽を育てる手立てとして「（教師による）居場所づくり」と「（子どもによる）絆づくり」を意識して取組を進める。
- ・ 豊かな体験活動を通して、子どものよさを磨き、自尊感情を育てる。
- ・ 子どもの言動や表情の陰にある心に共感し、心が通い合う温かい学級集団をつくる。
- ・ 子どもの主体的な活動を促し、さまざまな仲間づくりを通して「共生」の意識を養う。（学級活動・児童会活動・縦割り活動・クラブ活動など）
- ・ 「相手に届ける挨拶」ができる子どもに育てる（「おおすみ5あいさつ」の励行）。
- ・ 児童の成長を促す積極的な生徒指導を推進するとともに、いじめや不登校等の未然防止と早期発見、即時対応の徹底を図る。

(2) 主体的に学ぶ力をはぐくむ学習指導

- ・ 一人一人の興味・関心等に応じて意欲を高め「楽しく、よく分かる授業」「納得と感動ある授業」を展開する。
- ・ よりよい学習習慣(学習ルール・ノート・家庭学習等)の定着に努める。
- ・ 教師と児童生徒の関わり合いや児童生徒同士の関わり合いなど様々な場面での体験を通じた学びや地域の方々をはじめ多様な他者と協働した探究的な学びなどを推進し、各教科における「学び合い」の充実を目指す。
- ・ 自己を振り返り、自己の成長を感じる機会を設け、学ぶ意欲を高める。
- ・ 学力テスト等の結果分析を通して、力を伸ばす授業改善を目指す。

(3) 子どもの実態や特性に応じる特別支援教育

- ・ 一人一人の子どもの教育的ニーズに応じた支援に努める。
- ・ 校内の指導・支援体制を整え、必要に応じてＳＣ、ＳＳＷなどの関係機関との連携を推進する。
- ・ 子どもの多様性を踏まえた交流および共同学習を通して、相互理解を深める。
- ・ 家庭との二人三脚で子どもへの支援を継続する。

(4) 地域に開かれた学校づくりと保安体制の構築

- ・ 「人、もの、こと」との関わりを大切にし、感謝の心を育む指導に努める。（大住「絆づくりプラン」の推進）
- ・ 学校、保護者、地域の情報交換や意見交換の場を大切にし、教育活動の充実を図る。
- ・ 「おおすみ5あいさつ」の習慣化を図り、地域とのつながりを一層強化する。
- ・ パトロール隊や保護者と一体となって、安心・安全な学校を目指す。

(5) 教職員の資質・力量の向上

- ・ 教育相談や学校事故、保護者対応等の初期対応を重視し、親身な支援はもちろんのこと組織的な対応に努める。
- ・ ＩＣＴ活用指導力の向上や家庭や地域社会と連携した遠隔・オンライン教育など、新しい教育課題の解決に向けた実践や研修を積み重ね、成果の共有化を図る。
- ・ 倫理観、危機管理意識を高め、不祥事防止に向けた取組を積極的に進める。
- ・ 行事の精選や慣例化した業務の見直しを通じて、職員の働き方改革を推進する。